

内容項目名	生命の尊さ (内容項目D- (19))
資料名	「お母さんのお母さん」 (出典「千葉県道徳教育映像教材」)
学校名	山武市立成東東中学校 指導者 寺本 亜季

## 1 学習指導案

### 中学校 2年C組 道徳学習指導案

平成29年11月8日(水) 5校時

#### (1) 主題名

つながる生命の尊さに気付く

#### (2) ねらい

生命の連続性に気付かせるとともに、かけがえのない自他の生命を尊重しようとする気持ちを育てる。

#### (3) 主題設定の理由

内容項目は生命の尊さであり、「生命の尊さについて、その連続性や有限性なども含めて理解し、かけがえのない生命を尊重すること」をねらいとしている。中学2年生ともなると、自分の進路や生き方について漠然とした不安をもっている。しかし、それを決めるのはまだ先の話だと考えており、よりよい生き方について真剣に考えようとしている生徒は決して多いとは言えない。命はかけがえのないものとわかっていても、生命軽視の発言などがなくなるのが現状である。

そこで本時は、生命あるものは互いに支え合っていることに気付かせ、生命の尊さを理解させたい。また、それぞれの生命体は唯一無二の存在であることを知り、自分が今ここにいることの不思議(偶然性)、生命にいつかは終わりがあること(有限性)、生命はずっとつながっているとともに関わりあっていること(連続性)について考えさせ、自他の生命を尊重しようとする態度を養いたい。また、生命の偶然性や有限性、連続性について考える中で、自分自身の家族に対する感謝の気持ちをもたせる機会としたい。

#### (4) 展開

過程	学習活動と主な発問	予想される反応	教師の支援
導入 (5)	1 アンケート結果をもとに、家族について質問する。 ①家族とどのような話をするか。 ②親とけんかをして口をきかなかったことがあるか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達</li> <li>・勉強</li> <li>・進路</li> <li>・将来</li> <li>・ある 最近増えた。</li> <li>・ない けんかをしない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・DVD視聴後に主人公の気持ちに共感させることをねらいとして質問する。</li> </ul>
展開 (35)	2 DVDを視聴する。 (病院で大輝が「お母さん、お母さん」と呼びかけたところで一時停止する)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大輝が母に取る態度は、自分も似た経験がある。</li> <li>・このまま大輝のお母さんは亡くなるのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登場人物の写真を提示して物語の状況をつかむ。(DVD視聴中に整理しておく)</li> <li>・大輝と母の会話について確認する。</li> </ul>
	3 大輝の心情を考える。 ○大輝はどんなことを思いながら	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お母さん死なないで。</li> <li>・朝お母さんが話しかけて</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・母親の言葉や大輝の言葉や態度から、生徒たちにとつ</li> </ul>

<p>病室まで走ってきたのだろうか。</p>  <p>4 DVDを最後まで視聴する ○大輝の祖母はなぜ急いで病院に駆けつけたのだろうか。</p> <p>(補助発問) ○もしも大輝が事故に遭ったら母、祖母はどう行動するか。</p> <p>5 最後の場面の大輝の行動について考える。 ◎大輝が笑顔で「行ってきます」と言うことができたのはなぜだろうか。 ・ワークシートに自分の考えを記入する。 ・意見を発表する。</p>	<p>きたことに、まともに返事をしなかった。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「行ってきます」も言わないで、このままお母さんと話せないなんて嫌だ。</li> <li>・娘が無事かどうか心配だったから。</li> <li>・自分の目で様子を見たかったから。</li> <li>・母は心配して病室に駆けつける。</li> <li>・祖母も今回と同じようにする。</li> <li>・親の子を心配する気持ちを知り、素直に行動できるようになった。</li> <li>・母の存在に感謝できるようになったから。</li> <li>・自分の命は自分だけのものではなく、皆で支え合っていることを知ったから。</li> </ul>	<p>でも、日常生活の中であり得る光景であることをおさえたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・母親の子を思う気持ちや、大輝がおかれている立場、つらい気持ちに共感させたい。</li> <li>・母の大輝への思いと祖母の母への思いが同じであることを確認する。</li> <li>・親子間だけでなく、孫を思う祖母の気持ちに触れさせ、生命のつながりを意識させたい。</li> <li>・他の考えを知り、自分の考えを深めることができるようにする。</li> <li>・一人一人の意見を共感的に受け止めるように助言する。</li> </ul>
<p>終末 (10)</p> <p>6 絵本「いのちのまつり ヌチヌグスージ」のイラストを見る。</p> <p>7 今日の授業で命について考えたことをワークシートに記入する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・4人のグループで自分の考えを伝え合う。</li> <li>・グループで出てきた考えを発表する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こんなにたくさんのご先祖様がいるんだ。</li> <li>・たくさんの命が続いて今の自分がいるんだ。</li> <li>・命はつながっているんだ。自分一人のものではない命を大切にしたい。</li> <li>・これからは相手を傷つけないように、自分の思いを伝えるようにしたい。</li> <li>・自分の生命も、友達、家族の生命も、みんなの生命を大切にして生活していきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・黒板にイラストを提示する。</li> <li>・絵本のイラストを提示することで、本時のねらいを印象づける。</li> <li>・自分の日常生活について振り返らせるとともに、自分のこととして考えさせる。</li> </ul> 

(5) 他の教育活動との関連 [D-(19)「生命の尊さ」関連]

	教科等	題材名・内容項目	道徳に関連したねらい
第1次	道徳 (5月)	「エルマおばあさんからの『最後の贈りもの』」	・おばあさんの生き方を通して、生命の有限性や家族とのつながりについて考える。
第2次	救急実習 (6月)	「心肺蘇生の方法とAEDの正しい使い方」	・心肺蘇生の方法やAEDの正しい使い方を理解する学習を通して、生命の尊さに気付く。
第3次	思春期講演会 (10月)	「赤ちゃん触れ合い体験」	・赤ちゃんとの触れ合い体験を通して、生命の尊さに気付く。
第4次 本時	道徳 (11月)	「お母さんのお母さん」	・生命の連続性に気付かせ、自他の生命を大切にすることを育む。

## 2 事後検討会

### (1) 授業記録(展開5より)

T 映像の最後の場面で大輝くん、どうだった？

S 元気よく「行ってきます」って言っていた。

T (最初に貼った写真と「行ってきます」の場面の写真を並べて) 全然違うよね。

S 本当だ。(「行ってきます」の写真は) すごく明るくなっている。

T どうして大輝くんはこんなに笑顔で「行ってきます」って言えたのだと思いますか？  
ワークシートに書いてみよう。

S (ワークシートに考えを書く)

T ではみんなの考えを教えてほしいのだけど…。

S①お母さんが自分のことを心配してくれていることがわかったから。

S②「いつになっても自分の生徒は大切な生徒なんだよ」というおばちゃんの言葉があったから。

S③今までの自分に足りていない部分に気付いたから。

S④いつ何があるかわからないから後悔しないようにしたいと思って。

T ここでみんなに見てもらいたいものがあります。

(絵本「いのちのまつり」を提示する) ある男の子が自分のご先祖様について考えました。

(ページをめくりながら) 男の子は、自分にはたくさんのご先祖様がいることに気付きました。

S わー！すごくたくさん。

T みんな一人一人にも同じようにたくさんのご先祖様がいるのだよね。

S 一体何人いるんだろう…。

T では今日の授業の感想をワークシートに記入しましょう。

S (ワークシートに感想を書く)

T たくさんいろいろなことを書いていますね。ぜひみんなの感想をグループで伝え合ってほしいので、4人グループになってください。

S (グループで自分の考えたことを伝え合う)

T クラスのみんなにも考えを伝えてほしいのだけど…。グループで一人、代表でお願いします。

S これまで命は受け継がれてきたんだと実感した。今、隣にいるSくんのご先祖様が何かあって違っていたこともあるわけで、そうしたら今、隣にSくんはいないかもしれない。そう考えると今、ここにSくんがいるのはたくさんのお出来事が重なって起こった「奇跡」なんだと思う。

それってすごいことだなと思った。

T なるほど。本当だね。今こうやってそれぞれ隣同士で座っているって、奇跡のようなことかもしれないよね。

S 母さんがいつもいるのが当たり前とってしまっているから、普段適当な反応を返してしまっている。母さんがいてくれることに感謝しなければいけないと思った。

S (「どうしても言いたい!」と挙手をする S くん) お母さんは心配していろいろ言ってくれているから、これからはお母さんの話をしっかり受け止めようと思った。お母さんに心配をかけない。自分もいつか生徒をもったときには大切にしたいと思う。

## (2) 授業の感想

### (生徒の感想)

- ・つい「うるさいな」と思ってしまうことがある親の言動は、自分のことを思っていることだと気づけた。だから感謝しないといけない。これからは親だけに限らず人とのコミュニケーションを大切にしていこうと思った。
- ・今の自分がいるのはお母さんやお父さん、またその上の人たちが生徒を大切に育ててきてくれたから。今生きているということ、お母さんお父さんが大切にしてくれていることに感謝をしていこうと思った。
- ・たまに親に反抗的な態度をとってしまうことがあるけど、感情的にならず落ち着こうと思った。自分が大切にされているから、自分も家族を大切にしていこう。
- ・最近の僕はご飯とお風呂が終わるとすぐに自分の部屋に行ってしまうと親とほとんどしゃべらない日もあります。でも今日の授業を通して、もっと親と話そうと思いました。
- ・今日の授業で「命の重さ」「自分を産んでくれた母、父、ご先祖様のありがたさ」を知ることができました。たまにそっけない態度をとってしまうことがあるけど、何か言ってくれるのはお父さんお母さんしかいないと思います。一日一日家族を思って生きようと思いました。
- ・今までお母さんに対してたまに適当な返事をしてしまうことがあったけど、これからはなるべくたくさん話したいと思った。お母さんと一緒にいられる時間は限られていると思うから、今お母さんと過ごす時間を大切にしたい。
- ・今日映像を見て、同じような不慮の事故がきっかけで亡くなった自分のおばあちゃんを思い出して少し泣きそうになっていました。僕は大的おばあちゃん子だったので…。いつ何が起こるかわからないから後悔しないように、ちゃんと家族に接しようと思いました。

### (参観者の感想)

- ・生徒が本音を正直な言葉で表現していること、先生の授業の作り方にとても感銘を受けました。生徒一人一人が自分の考えをもち、よく他者の意見を聞き深めていく授業を見ることができ、とても感動しました。
- ・生徒の反応のよさに驚きました。それと一つ一つの意見を丁寧に取り上げている先生も素敵でした。とてもわかりやすい題材でしたので活用してみたいと思いました。
- ・映像資料を使用した授業を初めて観て、生徒も主人公になりきって考えることができていると思いました。導入から終末までの流れが自然でした。板書には発言がたくさん書かれていて、生徒も嬉しいのではないかと思います。
- ・生徒から「自分の子どもにも同じようにしたいと思った」「〇〇君がここにいるのは先祖がいるからであり、奇跡的なことである」という発言があった。しっかりとねらいに迫ることができていたと思う。

- ・生徒が自分の意見や考えを自分の言葉で伝えようとする姿をたくさん見ることができました。先生との関係がよいことを感じました。友達同士で相手の考えを受け入れたり、認めたりすることができていると感じました。
- ・生徒がみんな一生懸命に発問に対して考え、活発な意見が出ていてよかったと思います。教師と生徒の関係もよく、本音で意見を言える様子を見せていただき、明るい気持ちになりました。

### 3 本事例の活用に関する留意点

#### (1) 絵本資料の活用

生命の連続性に気付かせるために、絵本資料の『いのちのまつり「ヌチヌグスージ」』（サンマーク出版）を活用した。生命のつながりは、両親と自分の間だけではなく、祖先から脈々と続いているという概念をつかませることができた。

#### (2) 話し合いの工夫

生命尊重の内容項目の話し合いは、異なる意見から最適解を導き出す議論ではなく、お互いの考えを伝えあい認めあう意見交換が適切であると判断した。そこで、終末の場面で、今日の授業で命について考えたことをワークシートに記入させた。その後4人のグループで自分の意見を伝えたり、相手の意見を受け止めたりするための意見交換をさせた。



#### (3) 資料提示の工夫

映像資料では、父親や祖母の説話にねらいとする価値の説明が含まれている。その価値を生徒自身に気付かせるために、授業では父親と祖母の説話場면을編集したものを活用した。生徒の実態に合わせた資料提示をすることで思考を深めさせることができた。

